

# 東京湾の交通環境 (洋上視察参考資料)

---

海上保安庁  
交通部企画課  
平成26年7月



1	視察コース	1
2	京浜港（東京区）の主な施設・特徴・通航船舶の状況等	2
3	京浜港（川崎区）の主な施設・特徴・通航船舶の状況等	6
4	京浜港（横浜区）の主な施設・特徴・通航船舶の状況等	1 1
5	東京湾（浦賀水道航路）周辺の主な施設・特徴・通航船舶の状況	1 5
6	その他湾内の主要港（千葉、木更津、横須賀）の特徴	1 8
7	巡視艇まつなみ	2 1





レインボーブリッジ



東京電力品川火力発電所



東京電力大井火力発電所



大井コンテナ埠頭



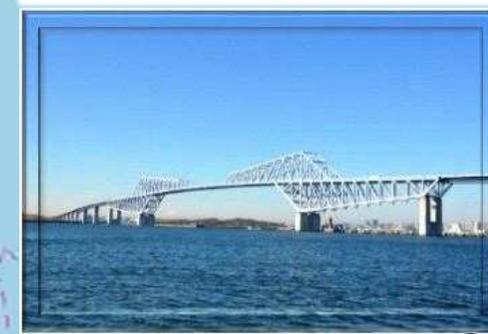
は、信号所



船の科学館(東京港内交通管制室)



青海コンテナ埠頭

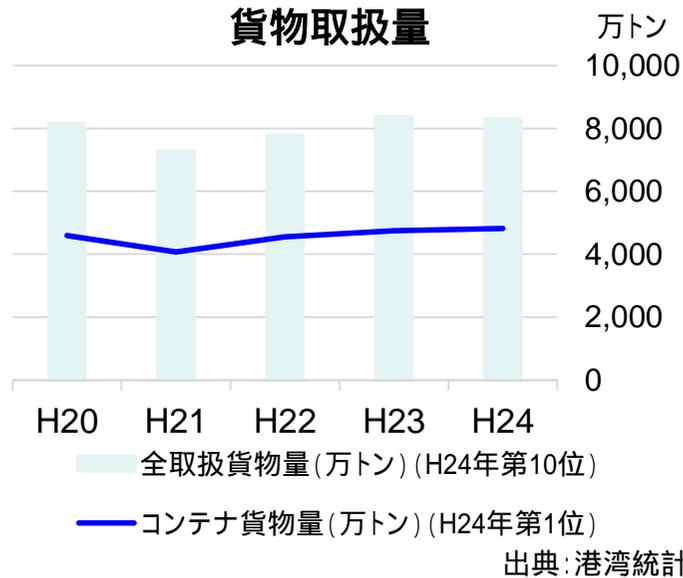


東京ゲートブリッジ

## ○海上物流

- ・首都圏の必要な物資を受け入れる重要な流通拠点
- ・国内外からの入貨が全体の約7割を占め、コンテナの取扱い貨物量が非常に多い国際コンテナ戦略港湾

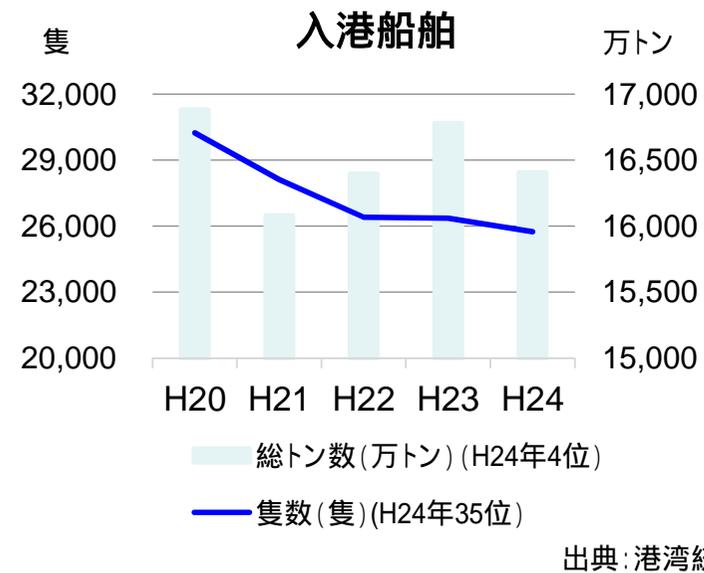
### 貨物取扱量



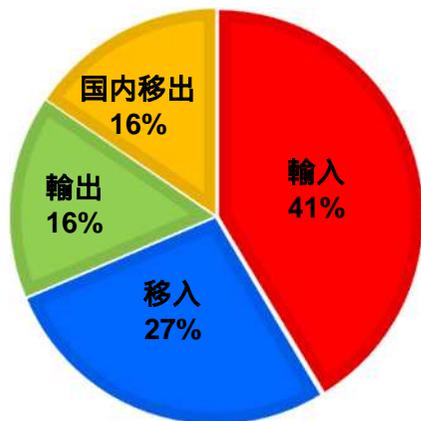
## ○船舶交通

- ・入港隻数は減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向(平成20年5,600トン/隻⇒平成24年6,400トン/隻)

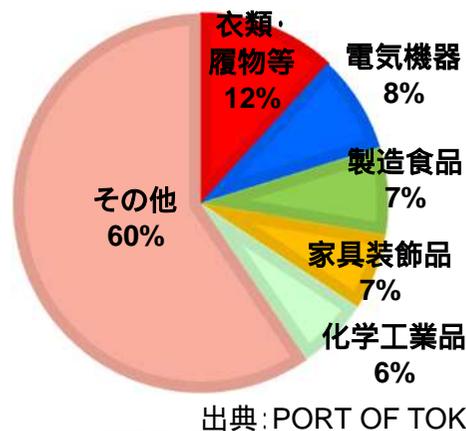
### 入港船舶



### 取扱貨物の構成(H24)



### 輸入貨物(H24)



管制航路	管制船舶 (H25年入航隻数)	管制対象船舶 (H25年入航隻数)
東京東航路 長さ: 1,500m, 幅: 300m	150m以上・油送船千トン以上(3,452隻)	50m以上(5百トン未満除く)(5,009隻)
東京西航路 長さ: 7,200m, 幅: 600m	300m以上・油送船5千トン以上,(333隻)	100m以上(13,816隻)

入航隻数は海上保安庁調べ

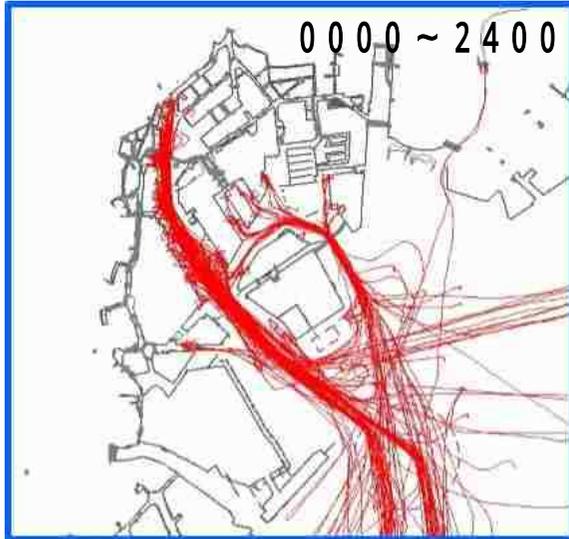
### ○災害時における港外避難【勧告基準】

- ・台風接近時: 3,000トン以上(入港隻数(H25年): 8,731隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

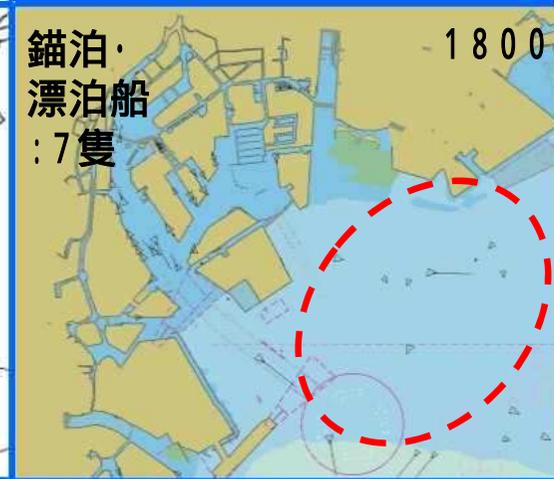
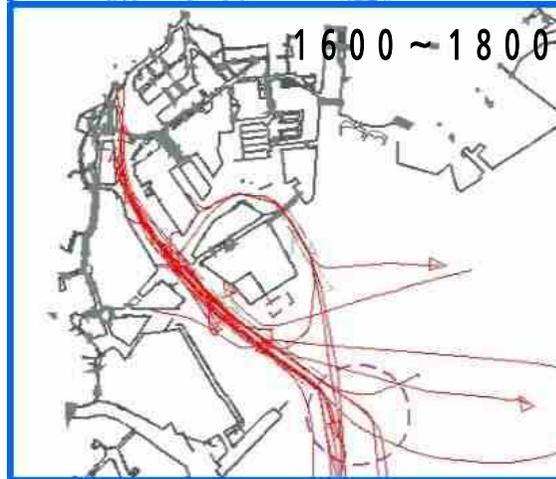
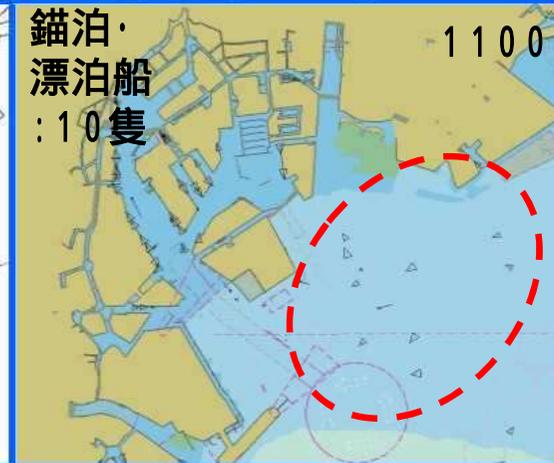
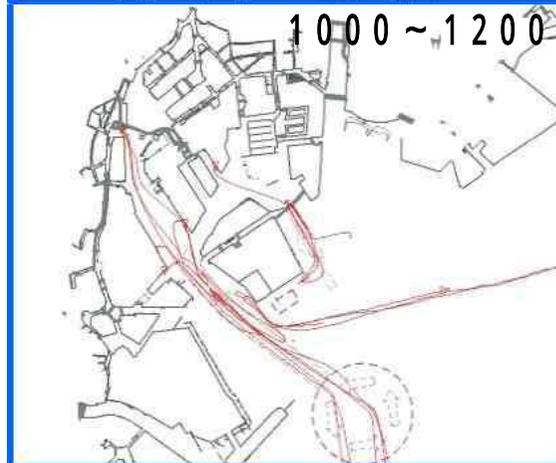
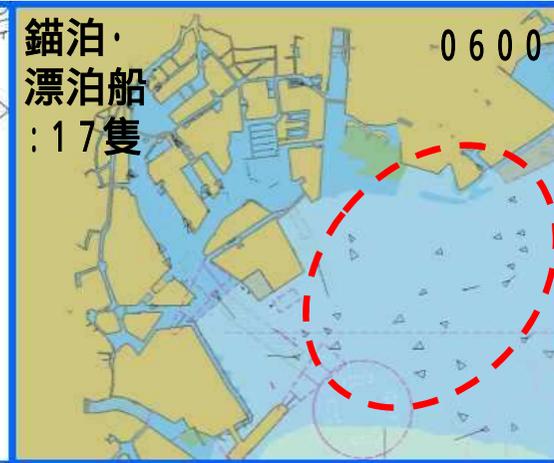
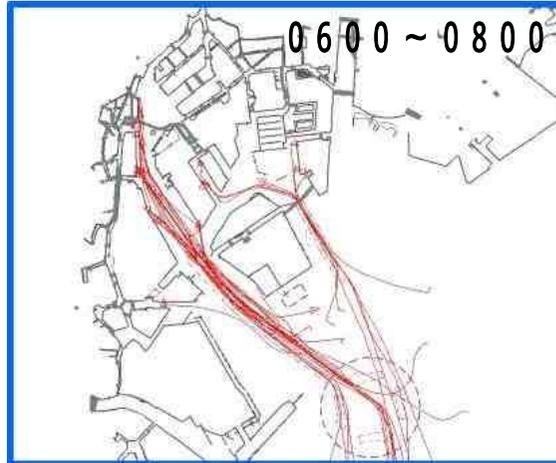
入港隻数は海上保安庁調べ

# 京浜港(東京区)における通航船舶の状況

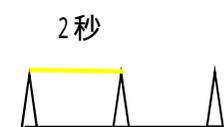
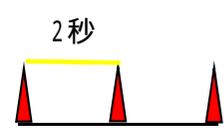
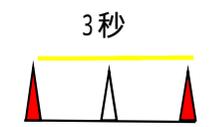
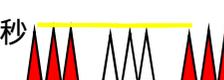
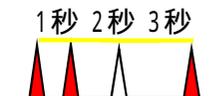
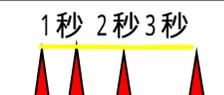
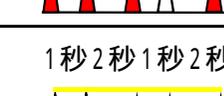
平成25年10月28日の  
AIS搭載船舶の通航状況



船種	0000 ~ 2400	0600 ~ 0800	1000 ~ 1200	1600 ~ 1800
貨物船	81	21	5	14
タンカー	4	1	-	-
旅客船	20	-	-	4
その他	54	10	9	5
合計	159	32	14	23



# 京浜港(東京区)の管制信号の意味

航路名		東京東航路	東京西航路
信号所名		10号地信号所、中央防信号所、15号地北・南信号所	大井信号所、13号地信号所、晴海信号所
入航信号	「I」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>入航船は、入航可</li> <li>長さ50m以上(総トン数500トン未満を除く)の船舶は、出航禁止</li> <li>長さ50m未満又は総トン数500トン未満の出航船は、出航可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入航船は、入航可</li> <li>長さ100m以上の船舶は、出航禁止</li> <li>但し、港長の指示を受けた船舶は、出航可</li> <li>長さ100m未満の出航船は出航可</li> </ul> 
出航信号	「O」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>出航船は、出航可</li> <li>全長50m以上(総トン数500トン未満を除く)の船舶は、入航禁止</li> <li>長さ50m未満又は総トン数500トン未満の入航船は、入航可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出航船は、出航可</li> <li>長さ100m以上の船舶は、入航禁止</li> <li>但し、港長の指示を受けた船舶は、入航可</li> <li>長さ100m未満の入航船は、入航可</li> </ul> 
自由信号	「F」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ150m(油送船は、総トン数1,000トン)以上の入出航船は入出航禁止</li> <li>長さ150m(油送船は、総トン数1,000トン)未満の入出航船舶は、入出航可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ300m(油送船は総トン数5,000トン)以上の入出航船は、入出航禁止</li> <li>長さ300m(油送船は総トン数5,000トン)未満の入出航船舶は、入出航可</li> </ul> 
禁止信号	「X」の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>港長の指示を受けた船舶以外は入出航禁止</li> </ul> 	
切替予告信号	「X・I」の交互点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路内航行船は、入出航可</li> <li>航路外にある長さ50m以上の入出航船舶(総トン数500トン未満の船舶を除く)は、航路外で航路内航行船舶の進路を避けて待機</li> <li>航路外にある長さ50m未満又は総トン数500トン未満の入出航船は、入出航可</li> <li>信号は間もなく「I」又は「O」又は「F」の文字の点滅に変わる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路内航行船は、入出航可</li> <li>航路外にある長さ100m以上の入出航船は、航路外で航路内航行船舶の進路を避けて待機</li> <li>但し、港長の指示を受けた船舶は、入出航可</li> <li>航路外にある長さ100m未満の入出航船舶は、入出航可</li> <li>信号は間もなく、「I」又は「O」又は「F」の文字の点滅に変わる</li> </ul> 
	「X・O」の交互点滅		
	「X・F」の交互点滅		
	「X」の点灯		<ul style="list-style-type: none"> <li>航路内航行船は入出航可</li> <li>航路外にある全船舶は、航路外で航路内航行船舶の進路を避けて待機</li> <li>信号は間もなく「X」の点灯に変わる</li> </ul> 

羽田船舶信号所は東京西航路に対する信号です。

# 京浜港(川崎区)の主な施設



JR火力発電所



東京電力川崎火力発電所



川崎天然ガス発電



東亜石油



川崎港内管制室



東京電力東扇島発電所



東扇島オイルターミナル



JFEスチール

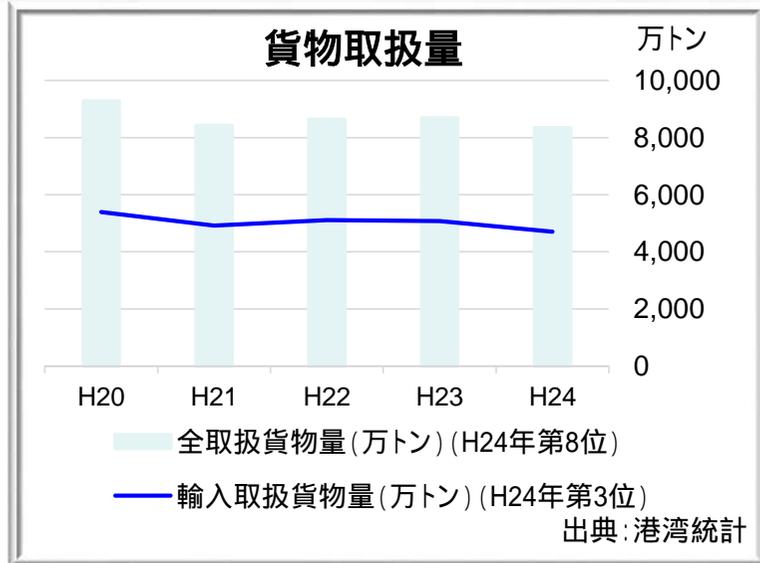


コンテナ埠頭



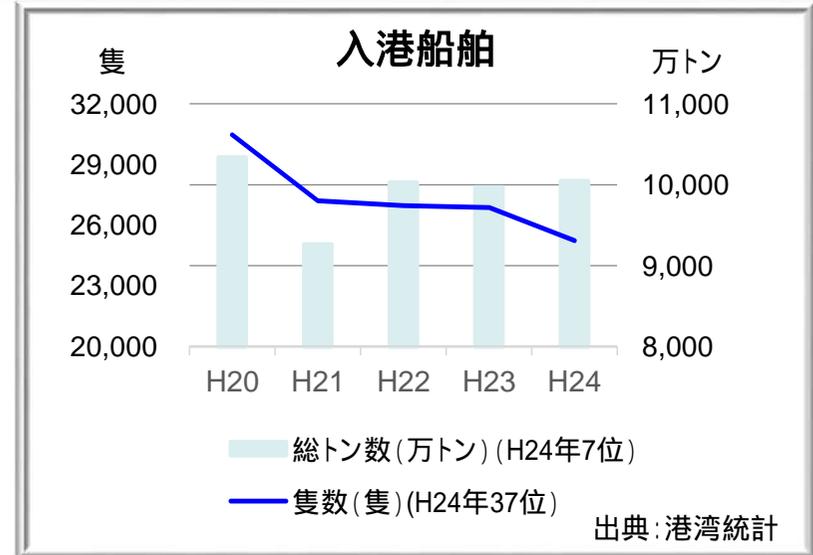
## ○海上物流

- ・輸入の取扱貨物量は輸出の約5倍であり、全ての取扱貨物量の約6割を占めている
- ・電力、ガス、製油等の供給基地となっている



## ○船舶交通

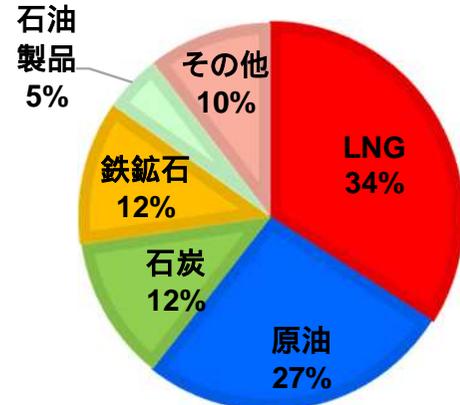
- ・入港隻数は減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向(平成20年3,400トン/隻⇒平成24年4,000トン/隻)



## 取扱貨物の構成 (H24)



## 輸入貨物 (H24)



出典: 川崎港港湾統計年報

LNG第4位,原油5位 (H24年)

管制航路	管制船舶 (H25年入航隻数)
鶴見航路 長さ: 2,300m, 幅290m	1,000トン以上 (9,371隻)
川崎航路 長さ: 1,850m, 幅: 250m	1,000トン以上 (4,988隻)

入航隻数は海上保安庁調べ

## ○災害時における港外避難【勧告基準】

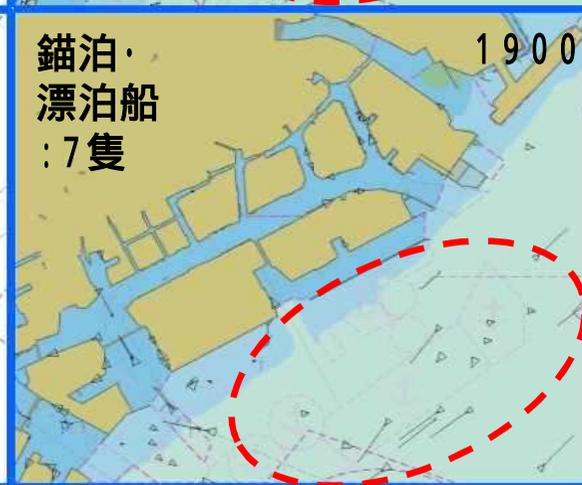
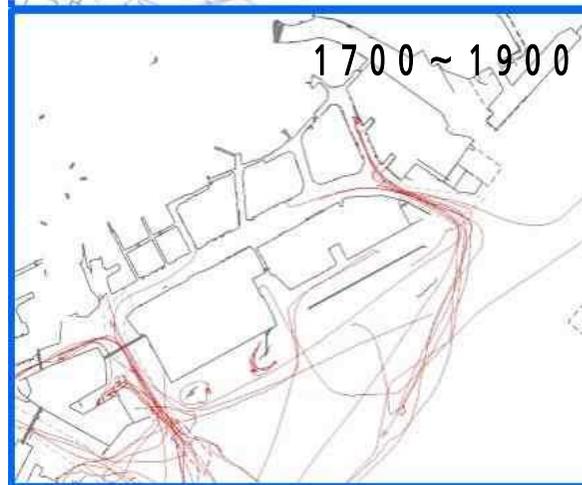
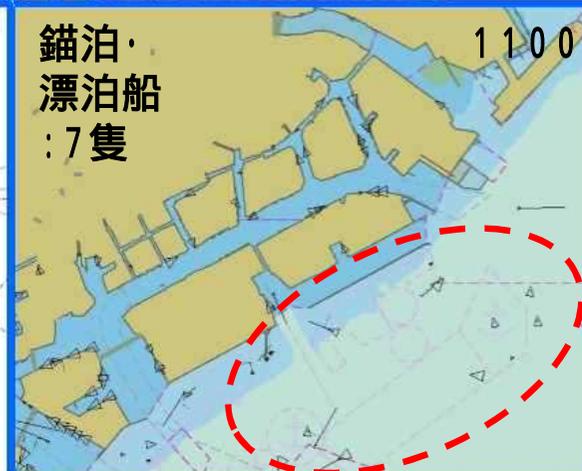
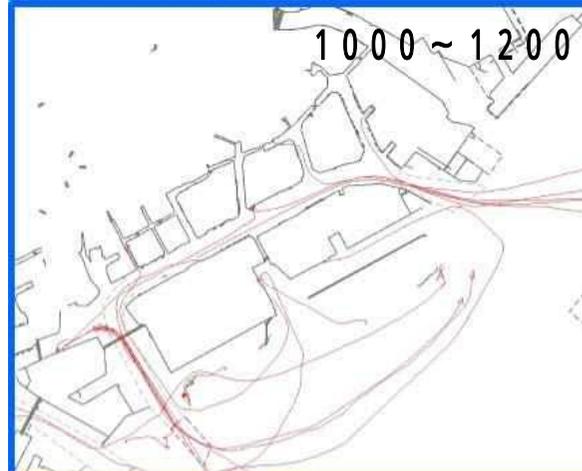
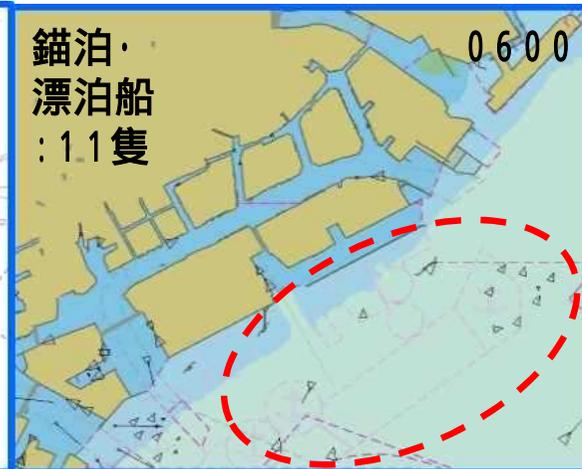
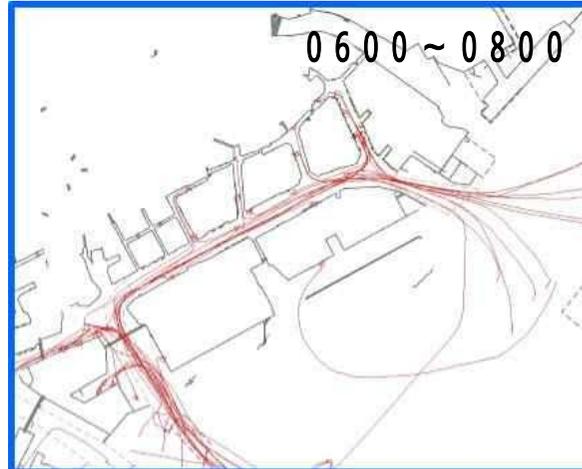
- ・台風接近時: 1,000トン以上 (入港隻数(H25年): 5,503隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

入港隻数は海上保安庁調べ

平成25年10月28日の  
AIS搭載船舶の通航状況



船種	0000 ~ 2400	0600 ~ 0800	1000 ~ 1200	1700 ~ 1900
貨物船	47	10	5	10
タンカー	55	9	3	7
旅客船	18	-	-	4
その他	84	14	11	16
合計	204	33	19	37



航路名		鶴見航路	川崎航路
信号所名		鶴見、鶴見第二信号所	川崎信号所
入航信号	「I」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>入航船は、入航可</li> <li>総トン数1,000トン以上の船舶は出航禁止</li> <li>総トン数1,000トン未満の出航船舶は出航可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入航船は、入航可</li> <li>総トン数1,000トン以上は出航禁止</li> <li>総トン数1,000トン未満の出航船舶は出航可</li> </ul>
出航信号	「O」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>出航船は、出航可</li> <li>総トン数1,000トン以上の船舶は入航禁止</li> <li>総トン数1,000トン未満の入航船舶は入航可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出航船は、出航可</li> <li>総トン数1,000トン以上は入航禁止</li> <li>総トン数1,000トン未満の入航船舶は入航可</li> </ul>
注意信号	「X」の点滅	<p>〔南水路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南水路内航行中の船舶は入出航可</li> <li>南水路以外にある船舶は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、北水路から出航中の航行船舶は出航可</p> <p>〔北水路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北水路内航行中の船舶は入出航可</li> <li>北水路以外にある船舶は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、京浜運河第1区から出航中の航行船舶は出航可</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路内航行中の船舶は入出航可</li> <li>航路外にある船舶は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、京浜運河第4区から出航中の航行船舶は出航可</p>
禁止信号	「X」の点灯	<p>〔南水路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>港長の指示を受けた船舶以外は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、北水路から出航中の航行船舶は出航可</p> <p>〔北水路〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>港長の指示を受けた船舶以外は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、鶴見信号所内側信号板が「T」の点灯又は「T」の点滅の時は、京浜運河第1区からの出航船舶は出航可</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港長の指示船を受けた船舶以外は入出航禁止</li> </ul> <p>但し、川崎信号所内側信号板が「K」の点灯又は「K」の点滅の時は、京浜運河第4区からの出航船舶は出航可</p>

航路名		京浜運河
信号所名		鶴見、田辺、池上、塩浜、水江、川崎、大師信号所
東航信号	「K」の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東行船は東行可、枝運河への入航可</li> <li>・総トン数1,000トン以上の西行及び枝運河からの出航禁止</li> </ul>
枝運河東航信号	「K」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東行船は東行可、枝運河からの出航可</li> <li>・総トン数1,000トン以上の西行船及び枝運河への入航禁止</li> </ul>
西航信号	「T」の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西行船は西行可、枝運河への入航可</li> <li>・総トン数1,000トン以上の東行及び枝運河からの出航禁止</li> </ul>
枝運河西航信号	「T」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西行船は西行可、枝運河からの出航可</li> <li>・総トン数1,000トン以上の東行船および枝運河への入航禁止</li> </ul>
注意信号	「X」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東行又は西行中の船舶は、それぞれ東行又は西行可</li> <li>・停泊中の船舶は航行禁止</li> </ul>
禁止信号	「X」の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港長の指示を受けた船舶以外の船舶は東行又は西行禁止</li> <li>但し、京浜運河第1区においては鶴見信号所の外側信号板の「I」の点滅を見て入航した船舶は東行可、また、京浜運河第4区において川崎信号所の外側信号板の「I」の点滅を見て入航した船舶は西行可</li> </ul>

# 京浜港(横浜区)の主な施設

は、信号所



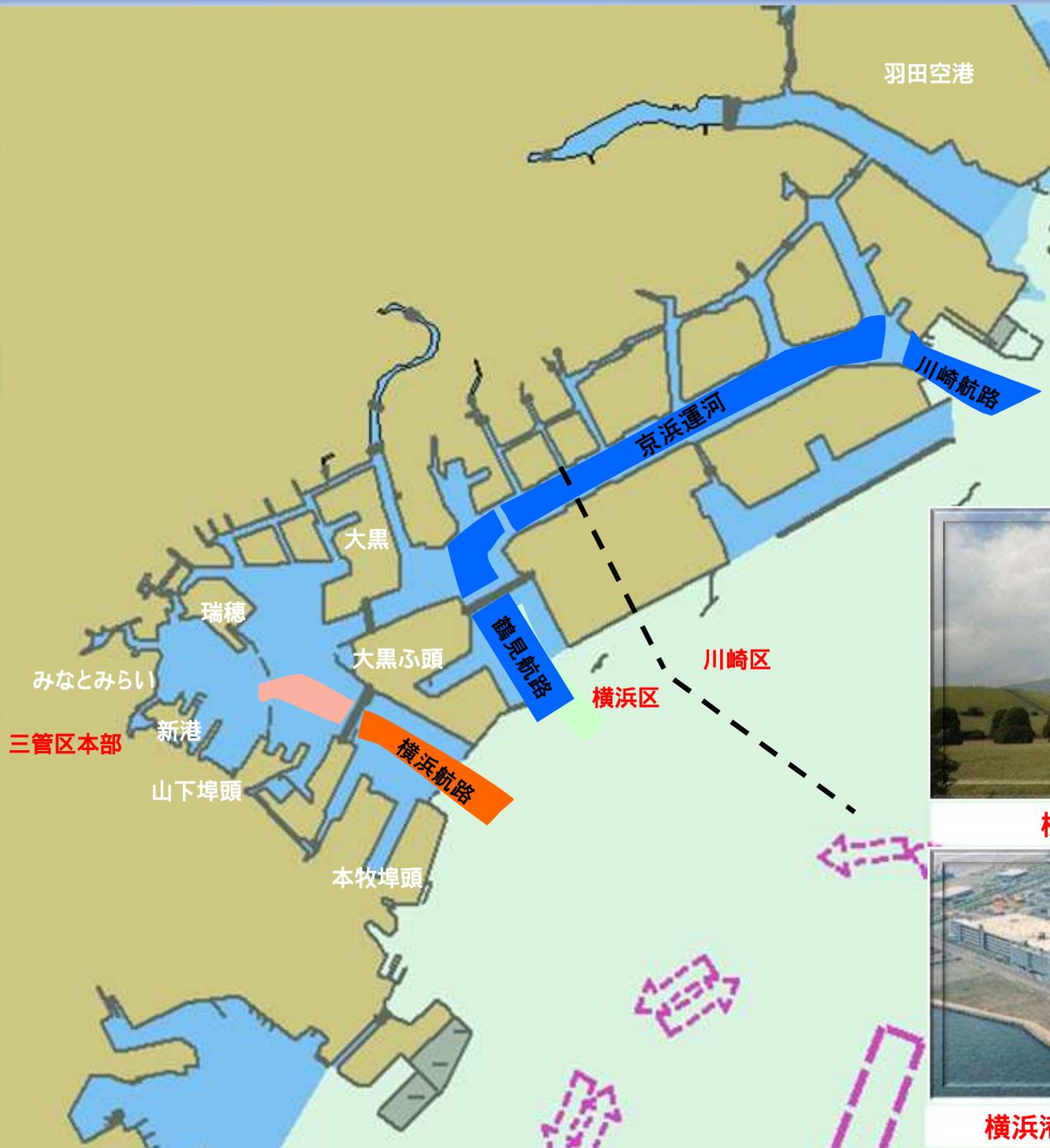
扇島パワーステーション



東京電力横浜火力発電所



ランドマークタワー



マリントワー



横浜港内交通管制室



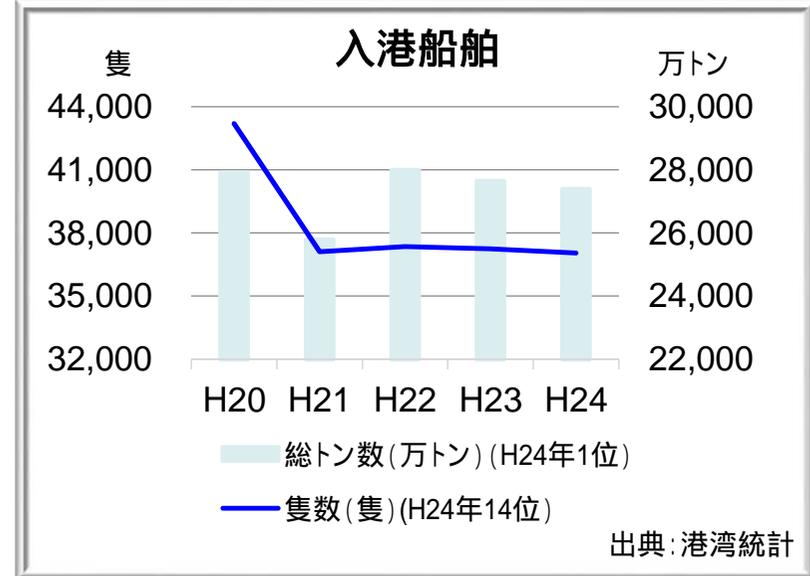
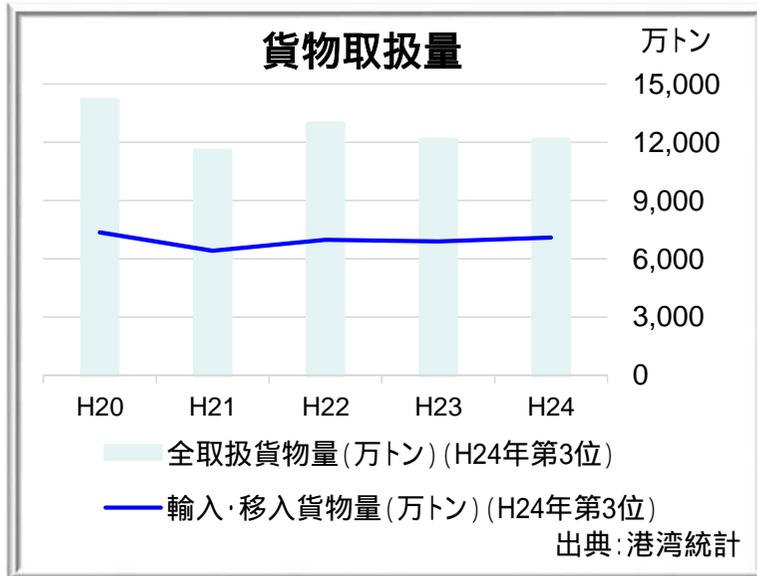
横浜港国際流通センター 11

## ○海上物流

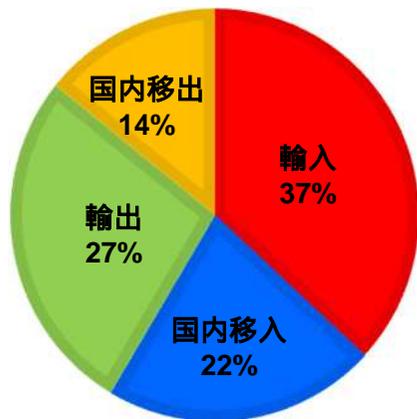
- ・輸入・移入の取扱貨物量は、全ての取扱貨物量の約6割を占めている

## ○船舶交通

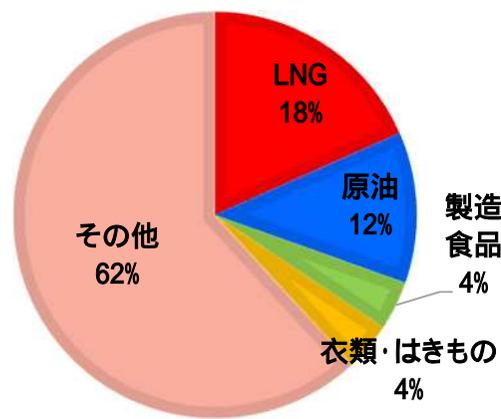
- ・入港隻数は減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向(平成20年6,500トン/隻→平成24年7,400トン/隻)



## 取扱貨物の構成 (H24)



## 輸入貨物 (H24)



管制航路	管制船舶 (H25年入航隻数)	管制対象船舶 (H25年入航隻数)
横浜航路 長さ: 4,500m, 幅: 400m	160m以上・油送船千トン以上(4,604隻)	50m以上(5百トン未満除く)(15,638隻)

入航隻数は海上保安庁調べ

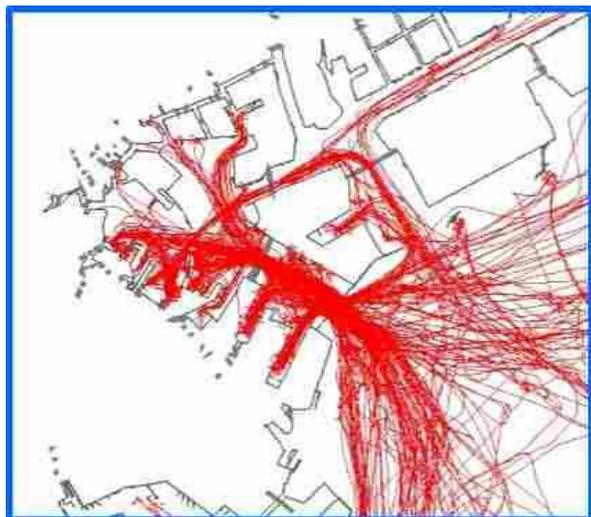
## ○災害時における港外避難(勧告基準)

- ・台風接近時: 1,000トン以上(入港隻数(H25年): 11,877隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

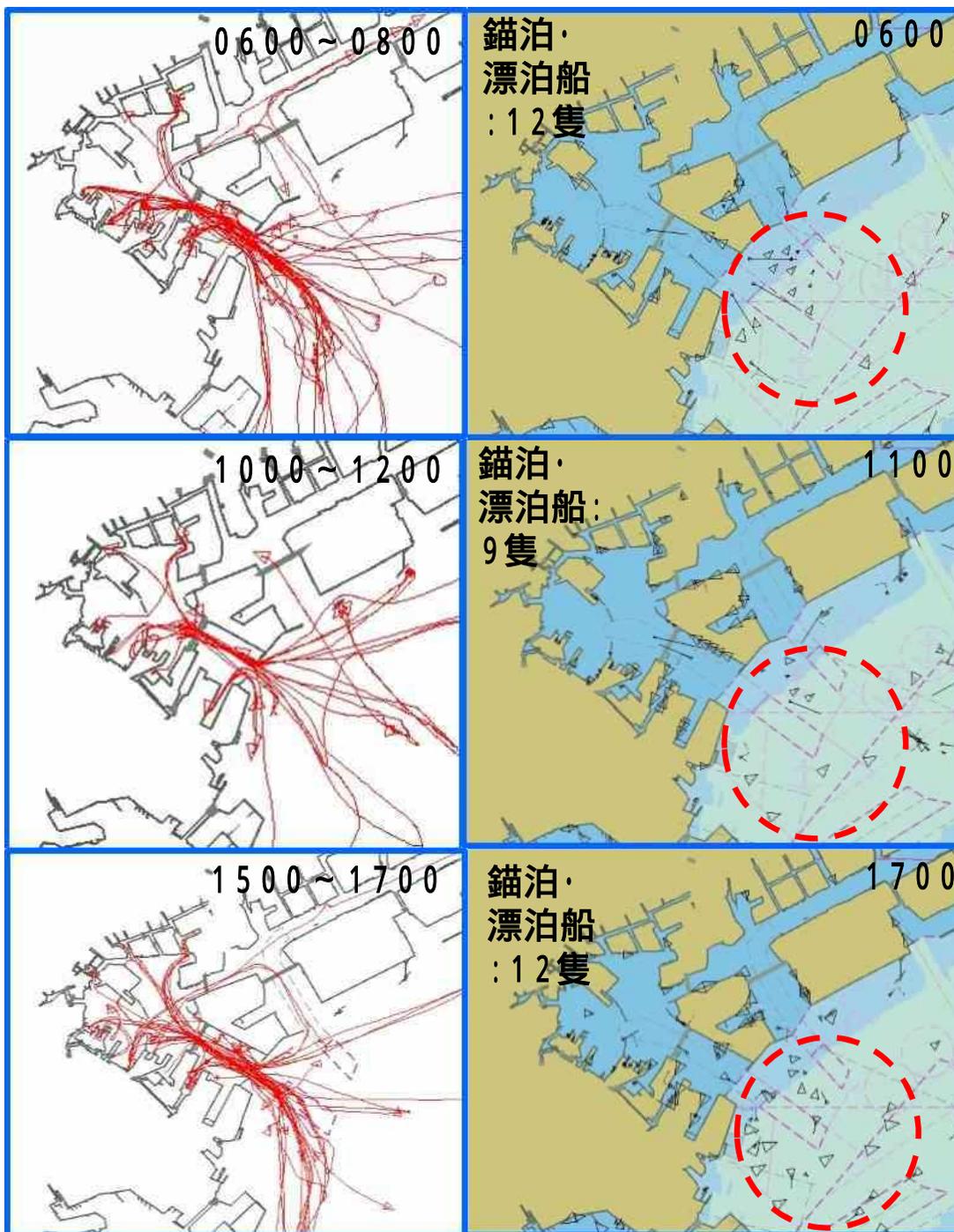
入港隻数は海上保安庁調べ

# 京浜港(横浜区)における通航船舶の状況

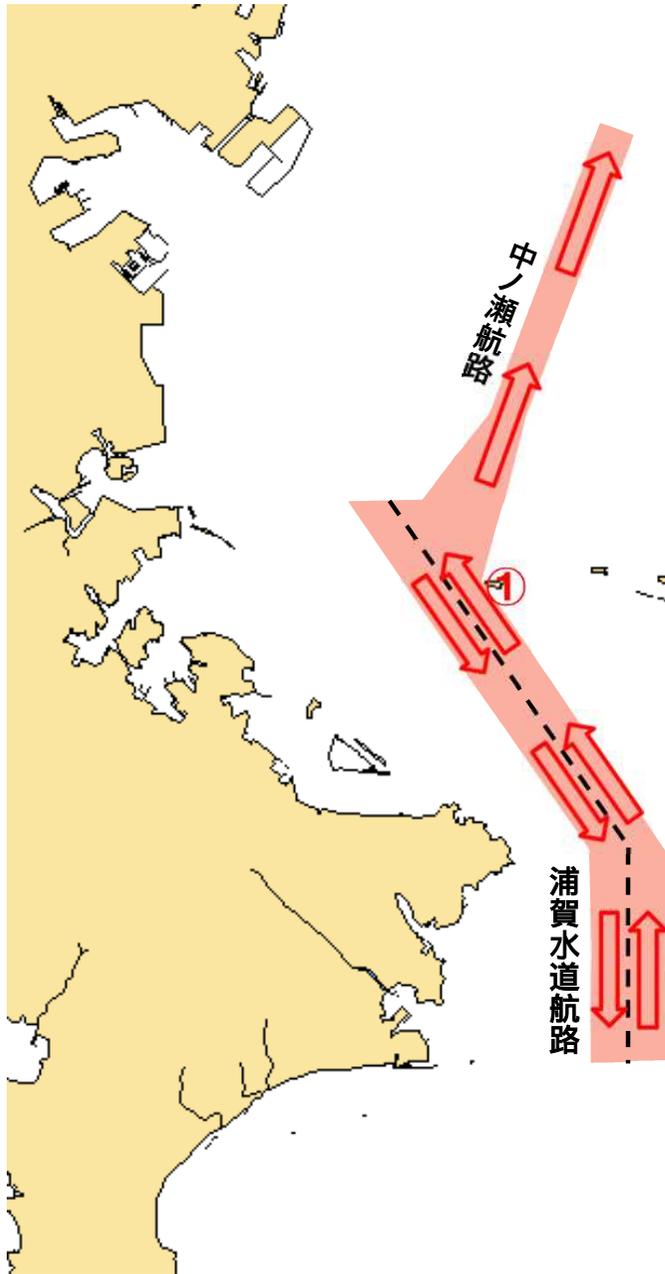
平成25年10月28日の  
AIS搭載船舶の通航状況



船種	0000 ~ 2400	0600 ~ 0800	1000 ~ 1200	1500 ~ 1700
貨物船	61	12	3	11
タンカー	4	-	1	1
旅客船	18	-	-	3
その他	173	29	16	28
合計	256	41	20	43



航路名		横浜航路
信号所名		大黒、内港、本牧信号所
入航信号	「I」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入航船は、入航可</li> <li>・長さ50m(総トン数500トン未満を除く)以上の船舶は出航禁止 但し、港長の指示を受けた船舶は、出航可</li> <li>・長さ50m未満又は総トン数500トン未満の出航船は、出航可</li> </ul>
出航信号	「O」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出航船は、出航可</li> <li>・長さ50m(総トン数500トン未満を除く)以上の船舶は入航禁止 但し、港長の指示を受けた船舶は、入航可</li> <li>・長さ50m未満又は総トン数500トン未満の入航船舶は、入航可</li> </ul>
自由信号	「F」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長さ160m(油送船は総トン数1,000トン)以上の船舶は入出航禁止</li> <li>・上記以外の船舶は入出航可</li> </ul>
禁止信号	「X」の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港長の指示を受けた船舶以外は入出航禁止</li> </ul>
切替 予告 信号	「X・I」 の交互点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航路内航行船は航行可</li> <li>・航路外にある50m(総トン数500トン未満の船舶は除く)以上の船舶は、航路外で航路内航行船の進路を避けて待機</li> <li>但し、港長の指示を受けた船舶は、入出航可</li> <li>・東水路から入航しようとする船舶は入航可、また、西水路から出航しようとする船舶は出航可</li> <li>・信号は間もなく「I」又は「O」又は「F」の文字の点滅に変わる</li> </ul>
	「X・O」 の交互点滅	
	「X・F」 の交互点滅	
	「X」の点滅	



第二海保灯台

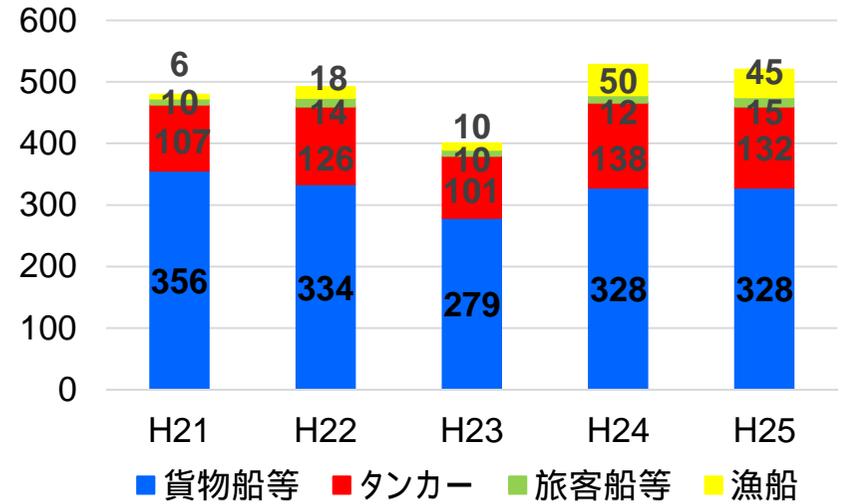


東京湾海上交通センター



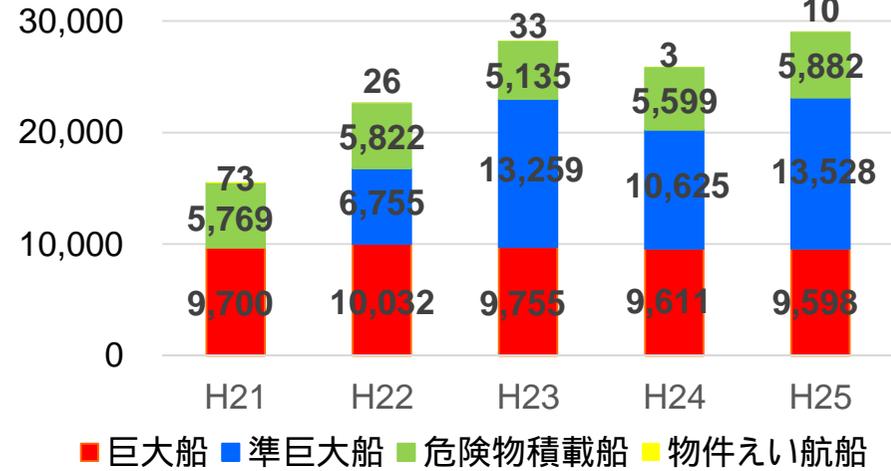
観音埼灯台

■ 浦賀水道における船舶通航量(1日平均)



出典: 通航船舶実態調査(海上保安庁調べ)

■ 浦賀水道の管制船舶通航数(年間)

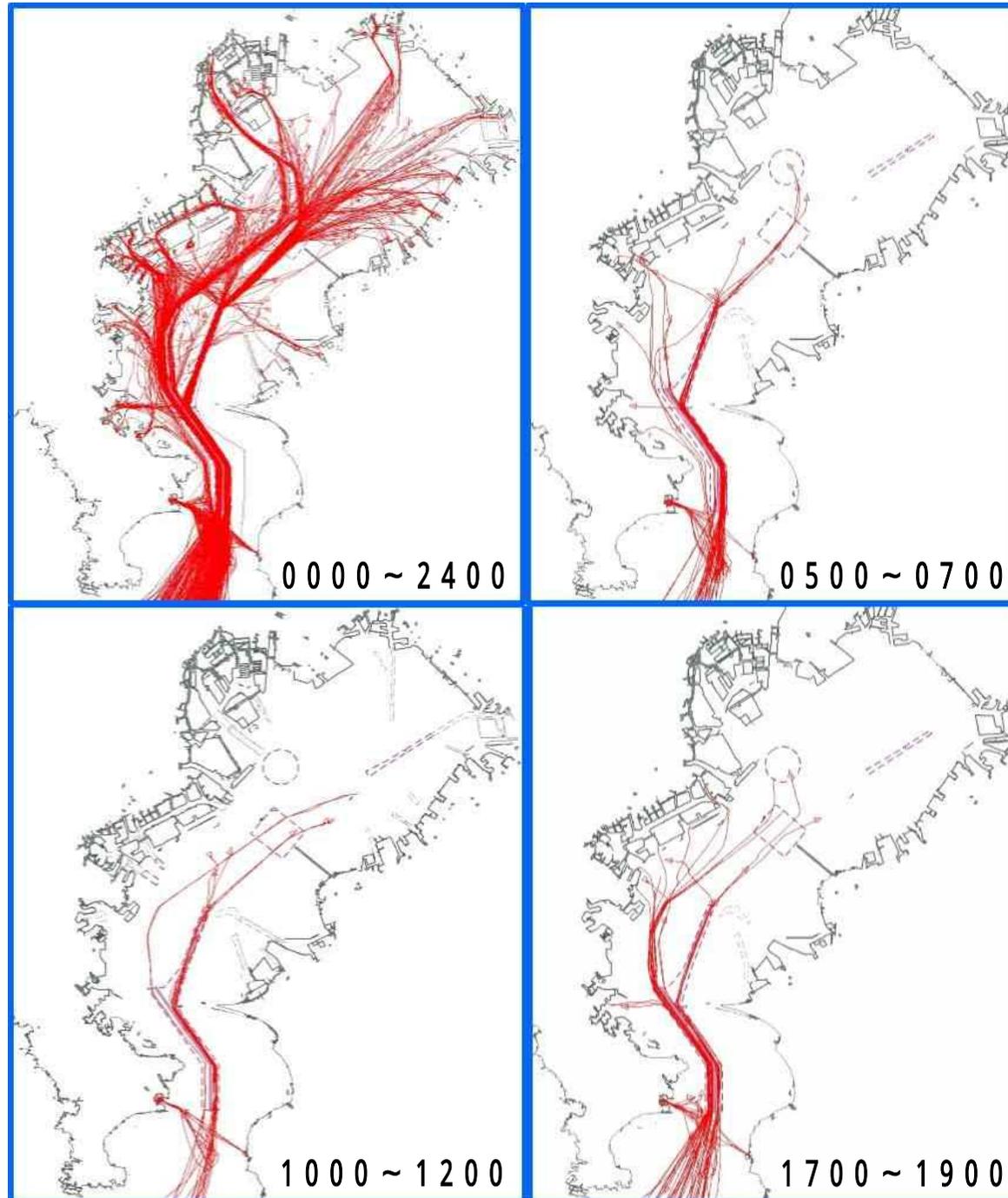


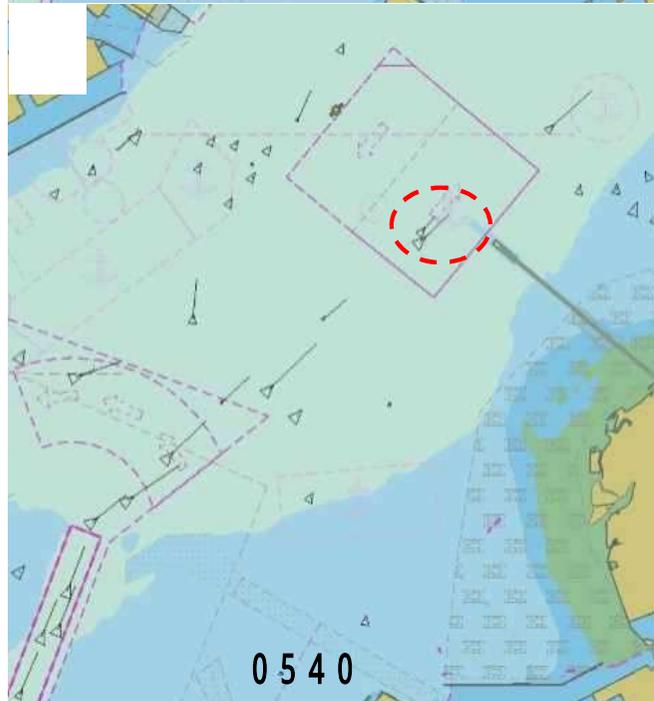
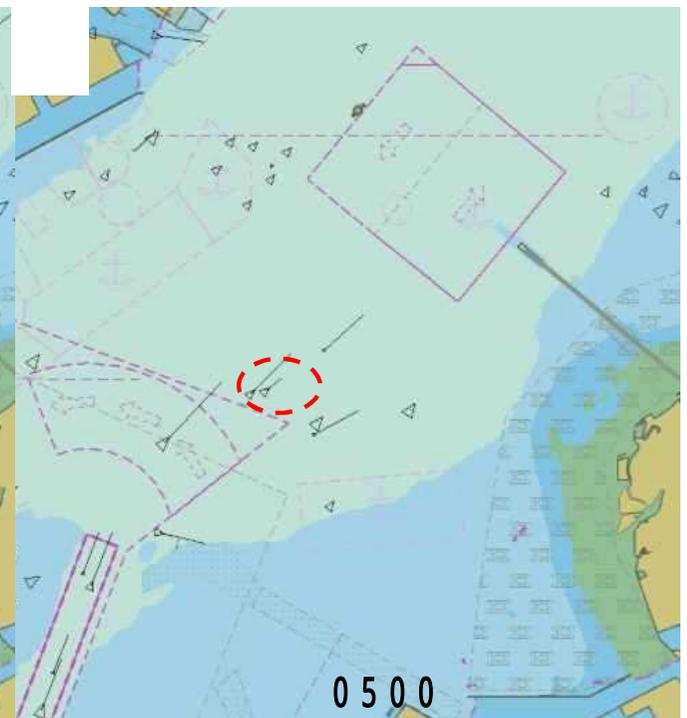
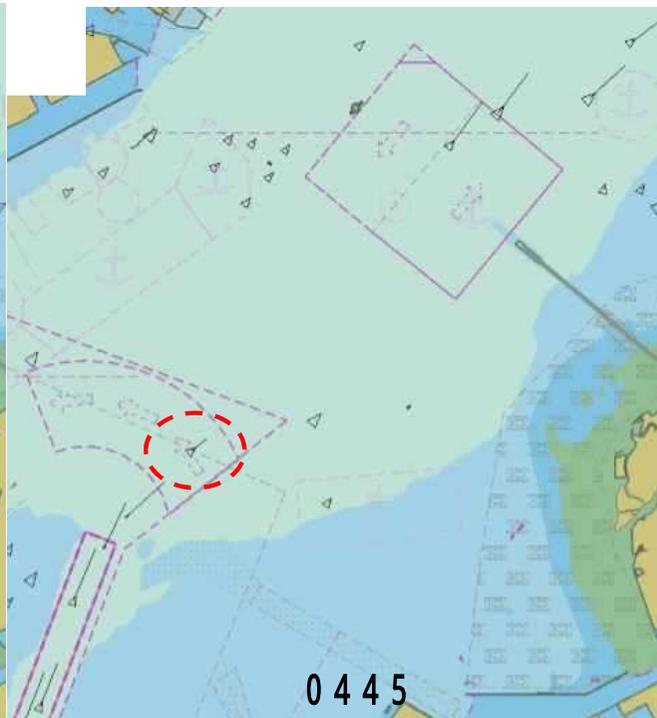
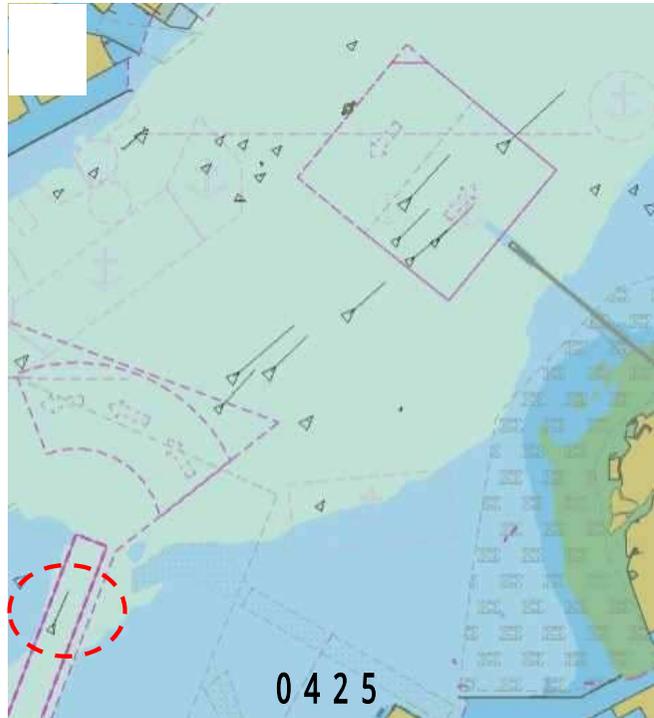
平成22年7月1日以降、管制船舶の基準変更

出典: 海上保安統計年報(海上保安庁調べ)

平成25年10月28日の  
AIS搭載船舶の通航状況

船種	0000 ~ 2400	0500 ~ 0700	1000 ~ 1200	1700 ~ 1900
貨物船	237	28	12	28
タンカー	106	5	7	11
旅客船	34	2	4	5
その他	210	27	9	23
合計	587	62	32	67





カンボジア船籍  
貨物船  
全長:72m  
概要:中ノ瀬航路航行中は、約10ノットで航行、同航路を通過後は約5ノットに減速し航行している

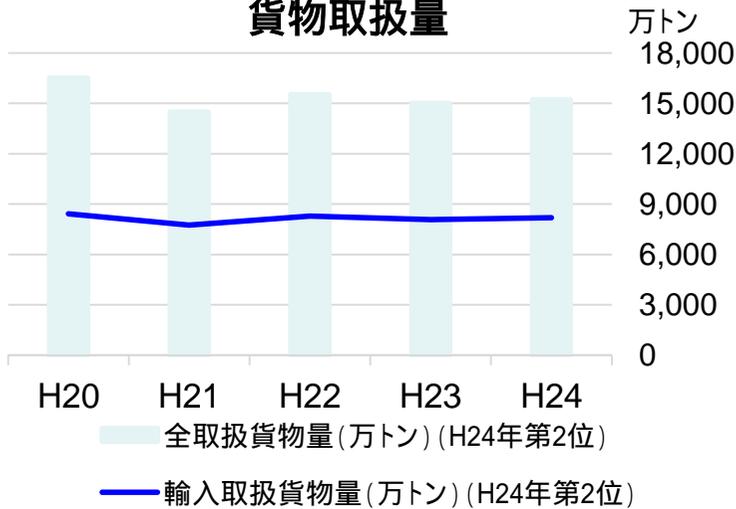
## ○海上物流

- ・輸入の取扱貨物量は、輸出の約10倍にも及んでいる
- ・発電所、製油等の供給基地であり、LNG・原油で輸入の約6割を占めている

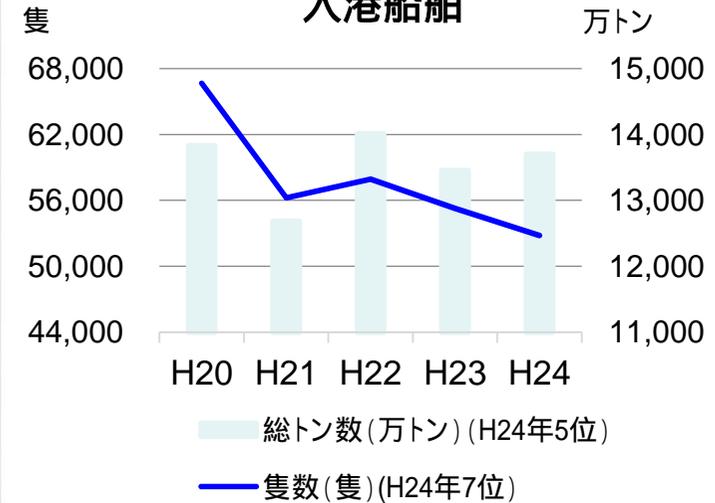
## ○船舶交通

- ・入港隻数は減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向(平成20年2,074トン/隻⇒平成24年2,594トン/隻)

### 貨物取扱量



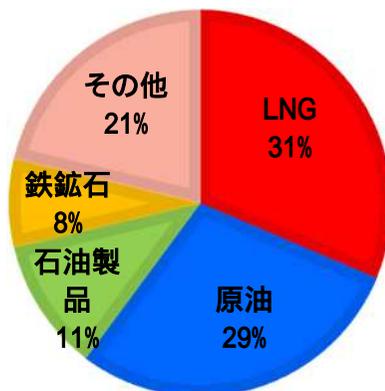
### 入港船舶



### 取扱貨物の構成 (H24)



### 輸入貨物 (H24)



LNG第2位,原油2位,鉄鉱石10位(H24年)

管制航路	管制船舶 (H25年入航隻数)	管制対象船舶 (H25年入航隻数)
千葉航路 長さ: 7,350m, 幅: 150m	140m以上・油送船千トン以上(2,184隻)	50m以上(5百トン未満除く)(7,886隻)
市原航路 長さ: 2,350m, 幅: 250m	125m以上・油送船千トン以上,(728隻)	50m以上(5百トン未満除く)(3,115隻)

入航隻数は海上保安庁調べ

### ○災害時における港外避難【勧告基準】

- ・台風接近時: 500トン以上(入港隻数(H25年): 15,719隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

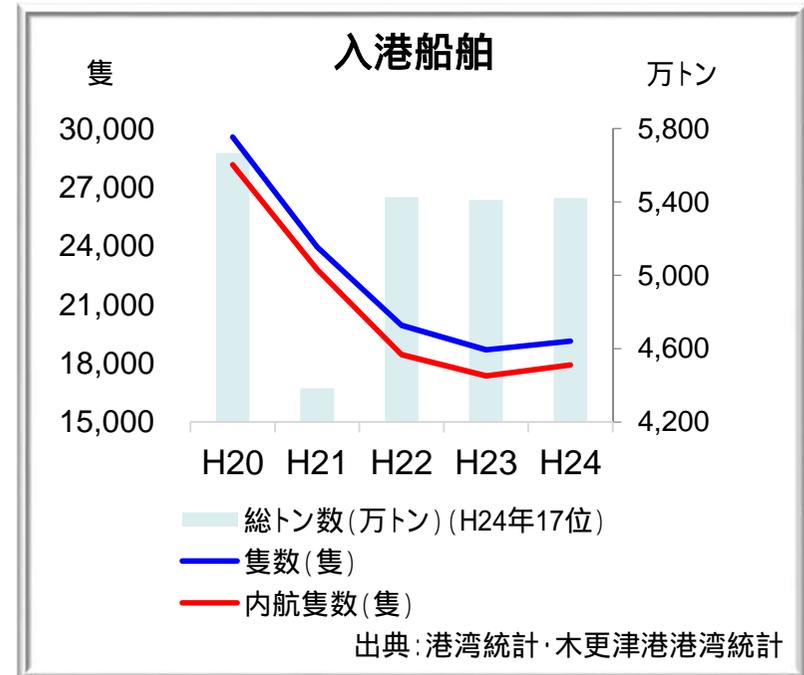
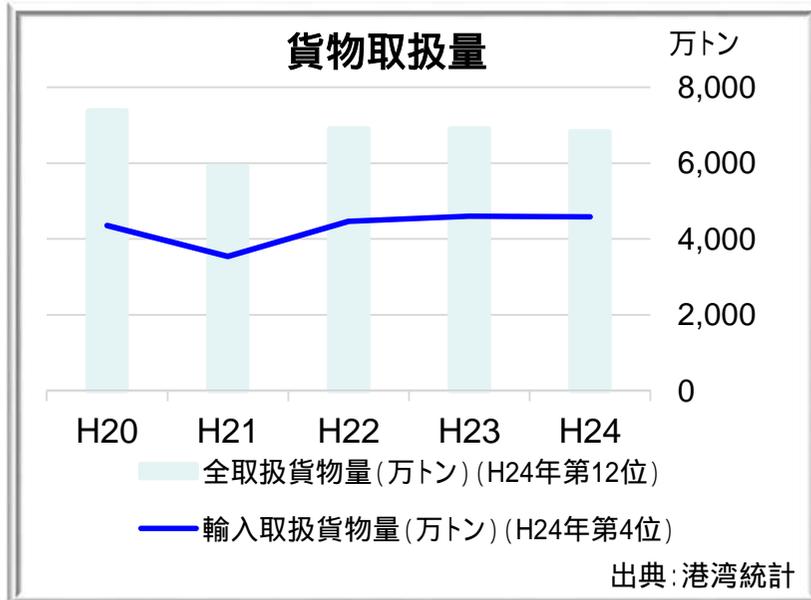
入港隻数は海上保安庁調べ

## ○海上物流

- ・輸入の取扱貨物量は、輸出の約10倍にも及んでおり、全体の約7割を占めている
- ・輸入貨物では、LNG全国1位、鉄鉱石4位となっている

## ○船舶交通

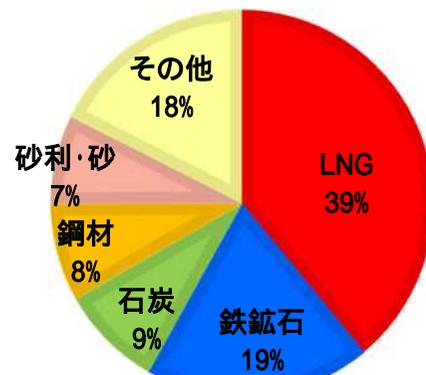
- ・入港隻数は内航船舶の入港隻数が大幅に減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向  
(平成20年1,917トン/隻⇒平成24年2,833トン/隻)



## 取扱貨物の構成 (H24)



## 輸入貨物 (H24)



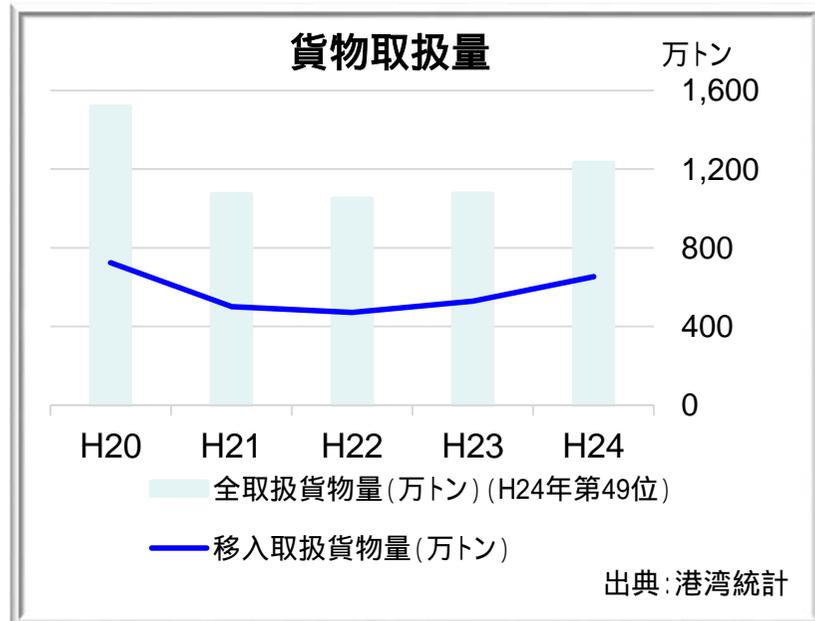
## ○災害時における港外避難【勧告基準】

- ・台風接近時: 500トン以上(入港隻数(H25年):2,682隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

入港隻数は海上保安庁調べ

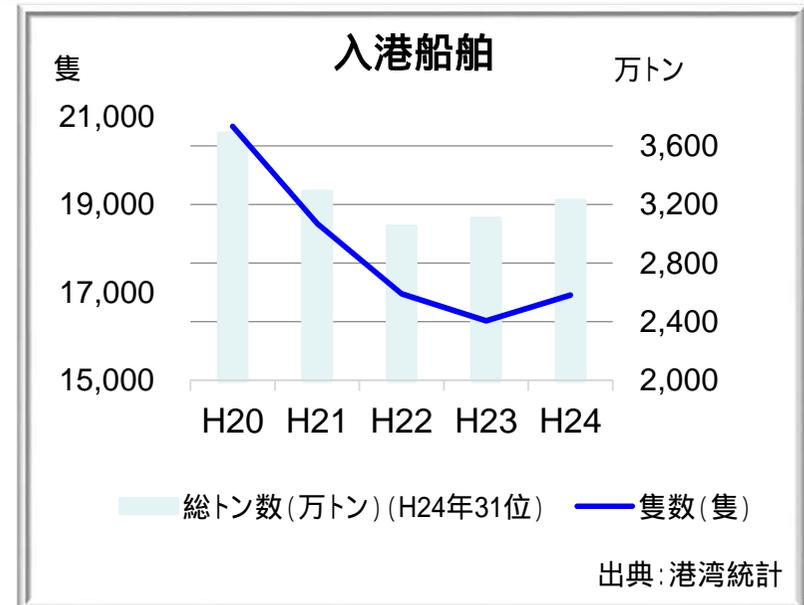
## ○海上物流

- ・取扱貨物は、国内輸送で約86%を占めている

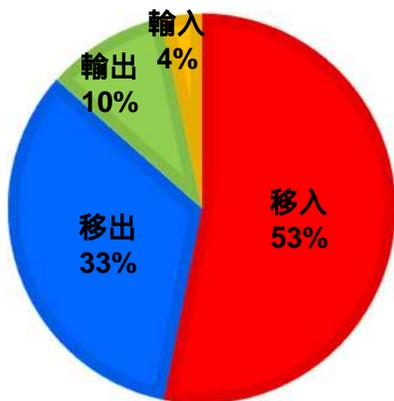


## ○船舶交通

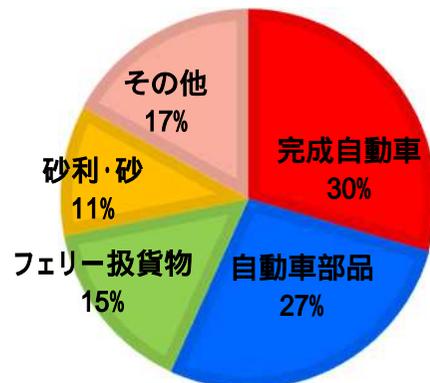
- ・入港隻数は減少傾向であるが、総トン数は概ね横ばいであり、1隻あたりの総トン数は増加(大型化)の傾向(平成20年1,771トン/隻⇒平成24年1,901トン/隻)



## 取扱貨物の構成 (H24)



## 移入貨物 (H23)



## ○災害時における港外避難【勧告基準】

- ・台風接近時: 500トン以上(入港隻数(H25年):7,253隻)
- ・津波発生時: 大型船、中型船(漁船含)

入港隻数は海上保安庁調べ



総トン数: 165 トン  
全長×巾×深: 38.0×8.0×3.3m  
速力: 25 ノット以上  
就役: 平成7年2月  
所属: 東京海上保安部